



令和5年度（三学期）が終わります



卒業式

三学期（令和5年度）も残すところわずかとなりました。

6年生の皆さんは今週22日（金）に卒業式を迎え、6年間通い続けた学び舎ともお別れですね。

卒業式練習の時、「竹の節」の話をしました。「竹が強くしなやかであるのは、『節』があるからだ。皆さんにとってその『節』が卒業式なんだ。」と。自らの6年間の頑張りに思いを致すと

ともに、力を合わせたり、支え合ったりした友達、熱意を持って支援・指導してくれた先生、そして、何よりも皆さんを力強く、愛情深く育ててくれた親・家族・地域の方々に感謝をしながら、卒業して欲しいと思います。

在校生の皆さんは、来月4月になれば一つずつ進級します。三郷小の200周年に向けての第一歩となる年が始まります。目標を持って勉強に運動に遊びに全力投球して欲しいと思います。

保護者の皆様方、三郷地区の皆様方、今年度一年間大変お世話になりました。

皆様方の温かなご支援とお力添えにいつもいつも励まされ、心強い思いでございました。

心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



子どもたちのみずみずしい感性 いいですね

「三郷っ子だより」第18号を発行以降、上毛新聞に掲載された本校児童の力作を以下に紹介いたします。どの作品も子どもの感性が光るものばかりですね。

<3月5日（火）「上毛ジュニア俳壇・朝の一句」掲載>

わらいごえはるかぜにのりひろがるよ 3年 高橋 秋人さん



<3月7日（木）「上毛ジュニア俳壇」掲載>

大根とくらべだぼくの勝ち 3年 田中 峻太郎さん

寒い中犬とさん歩で温まる 3年 栗原 朋希さん

雪がふり外だけ静かな休み時間 6年 春木 千慧さん



<3月11日（月）「上毛ジュニア俳壇・朝の一句」掲載>

家のにわパンジー来てからはなやかだ 2年 天田 粹士朗さん



<3月14日（木）「上毛ジュニア俳壇」掲載>

いちがっはいちねんせいのぼうしとぶ 1年 北島 唯さん

くるくるとわたしもとんでくからっかぜ 2年 梁瀬 結心さん

りんとして香りふりまく水仙花 5年 松本 芽依さん

体育館冬に合唱ひびく声 6年 鍛治 桜音さん



春休みにもたくさん俳句をひねっておいてくださいね。

別途、3月23日（土）に、第21回「ジュニア上毛文学賞」贈呈式が上毛新聞社で開催されます。本校は俳句の部で「学校賞」をいただくことになりました。

私（校長）が出席していただいています。